

令和３年度農業経営セミナー「みどりの食糧システム戦略」を開催しました

令和３年１月１２日（水）に「令和３年度農業経営セミナー」を現地およびweb配信形式にて開催し、認定農業者等の担い手や関係者等計４８人が参加しました。

開催概要	
目 的	農林水産省は変化する地球環境や生産者の減少などの課題に対応するため、環境や人に優しい持続可能な農業を推進する「みどりの食料システム戦略」を令和３年５月に策定しました。そこで本セミナーでは、当戦略の概要及び取り組みにかかる支援策を関東農政局の担当部局から説明して頂くほか、県内で２０年以上にわたり有機農業で小松菜を栽培し、有機JAS認証も取得している株式会社プレマ代表取締役社長 飯野晃子氏を講師に迎えて講演を行いました。
日 時	令和３年１月１２日（水）午後１時３０分～３時３０分
場 所	群馬県JAビル１０階 第３会議室
参集者	持続可能な農業に興味関心のある農業者・市町村等関係団体等
内 容	○講 演「みどりの食料システム戦略について」 講 師 関東農政局 次長 堺田 輝也 氏 ・食料・農林水産業が直面する課題 ・本戦略の目指す姿と取組方向 ・みどり戦略策定以降の状況 ・みどり戦略を踏まえた具体的な取組 ・みどり戦略関係の予算（R３補正予算、R４概算決定） ○講 演「有機農業でサステナブルな未来を拓く！ ～プレマ・オーガニック・ファームの歩みと未来ビジョン～」 講 師 株式会社プレマ 代表取締役 飯野 晃子 氏 [来歴] 大学時代にオーガニックな食と健康の世界に惹かれ、健康食と有機農業を研究。「日常の食テ クにオーガニックフードを！」を掲げ、農業生産法人の経営と食育活動を行っている。有機栽培 農家がほとんどいなかった２０年以上前から小松菜の有機栽培を始め、圃場はグローバルG.A.P. も取得し、６次化にも積極的に取り組んできた。 [内容] ・講演時点でハウス６３棟（２ha）、露地約１０haを管理し、そのほとんどで有機小松菜を栽培。 有機小松菜の一部は加工（冷凍・乾燥粉末・生うどん）を行い販売している。 ・小松菜栽培のこだわりとして、土壌診断を行い不足しているミネラルを有機資材で補充した り、連作障害回避と地力の向上を目的に合間で緑肥を栽培することで土のケアを行ったりする ほか、季節に合った品種を試験栽培により選定して安定供給に努めている。 ・有機生産者の立場からSDGsの取り組みを考える。 具体例） １）生産者は安全・安心・美味しい食べ物を消費者へ提供する責任を持ち、消費者もエコ＆ヘル シーな商品を選ぶ責任を持つ。 ２）消費者の健康のために食べ物の残留農薬を抑え、生産スタッフの農薬被害のリスクも最小限 にする努力。 ３）持続可能な社会を達成するための信頼関係の構築（農作業体験イベント等） など。 ・今後も有機栽培により人と地球の健康を増進し、持続可能な発展を目指していく。

問い合わせ先

- ・群馬県担い手育成総合支援協議会事務局
〒３７１－０８５４ 前橋市大渡町一丁目１０－７（群馬県公社ビル５階）
TEL 027-280-6171 FAX 027-255-6461
- ・群馬県農政部農業構造政策課 経営体支援係
TEL 027-226-3024 FAX 027-225-0096